

# 施策の評価シート(令和5年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総画合計	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード 061543
		施策	43	工業の振興	本冊ページ 98
	関連個別計画				
担当部局		商工観光部			
施策の内容(番号)		132		～	134

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価		担当課
		選択区分	今後の方向性 選択区分	
132	工業の持続的な発展に向け、国・県、商工会議所などの関係機関と連携し、独自の高い技術力を有する市内中小企業の生産基盤の強化や人材の確保・育成を支援し、次世代に技術を継承する取組を進めるとともに、中小企業の事業承継対策については、人材育成などの支援に取り組みます。	A	③	経営支援課
133	「創業支援」や「既存の中小企業振興」、「企業誘致」といった従来型の枠組みを維持しつつ、ワンストップで継ぎ目のない総合的な支援を行います。	A	①	経営支援課
134	産業拠点である中勢北部サイエンスシティだけでなく活用可能な工場用地や未利用地等の情報を収集・提供するとともに、市内への企業立地に係る支援を行い、企業誘致を推進することに加えて、社会経済情勢や企業立地に係るニーズ等を踏まえ、新たな立地基盤のあり方について検討を進めます。	B	①	経営支援課 /企業誘致課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満  
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A	A

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A	A				

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和5年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード 061543132
		施策	43	工業の振興	本冊ページ 98
	関連個別計画				
担当部局		商工観光部			
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		132	工業の持続的な発展に向け、国・県、商工会議所などの関係機関と連携し、独自の高い技術力を有する市内中小企業の生産基盤の強化や人材の確保・育成を支援し、次世代に技術を継承する取組を進めるとともに、中小企業の事業承継対策については、人材育成などの支援に取り組みます。		

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	実施評価 事業評価	
	担当課		何		決算額 (千円)	今後の方向性	
132-1	経営支援事業	中小企業振興事業補助金	効	中小企業が補助金を活用し、経営の安定、人材の育成を図ることができる。	◆ 中小企業振興事業補助金 35件	◎	交付実績は51件となり、補助対象者の目標件数を達成しているため、「◎」とした。
			誰	中小企業者	◇ 交付実績(目標:35件)	◎	
	経営支援課		何	生産性の向上や人材の育成等を図りやすくする。	17,056 (千円)	現状維持	
132-2	経営支援事業	高校生企業ライブの実施	効	市内事業者(製造業)が自社の魅力を伝え、知ってもらうことができる。	◆ 出展者数:15社 来場者数:100名	△	市内企業(16社)がブースを出展し、参加者は23人(うち、高校生は15人)だったため、「△」とした。企業、学校等の関係者へのヒアリングを行い、実施方法の見直しを行う。
			誰	市内企業(大・中小企業問わず)および市内を中心とした県内の高校生	◇ 出展者、来場者数	△	
	経営支援課		何	「ものづくり」への興味・関心を高め、地元製造業の理解を深め、その担い手となってもらう。	148 (千円)	見直し	
132-3	経営支援事業	津地域企業魅力発見ツアー	効	大学生自身の地元エンジニアとしての将来像を具体化。	◆ 工場見学を4社、企業プレゼンを4社実施。	◎	工場見学を4社分、企業プレゼンを5社分実施できたため、「◎」とした(参加人数は210名)。
			誰	三重大学工学部学生	◇ 開催実績	◎	
	経営支援課		何	地域の企業へ定着する。	172 (千円)	現状維持	
132-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

# 施策の内容評価シート(令和5年度分)

132-5			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
132-6			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
132-7			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
132-8			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)  
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない  
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	③
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。  
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	A	A	A				
今後の方向性	①	①	①	①	①	③				

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和5年度分)

## 1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード	061543133
		施策	43	工業の振興	本冊ページ	98
	関連個別計画					
	担当部局	商工観光部				
	施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	133	「創業支援」や「既存の中小企業振興」、「企業誘致」といった従来型の枠組みを維持しつつ、ワンストップで継ぎ目のない総合的な支援を行います。			

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◇ 事業評価の主な視点	
	担当課		何		決算額 (千円)	今後の方向性	
133-1	ビジネスサポートセンター総務事業	ワンストップ窓口の施設管理	効	事業者の負担を軽減させる。	◆ 月25件以上、年間300件以上の相談を実施	◎	経営相談150件、創業相談312件を実施し、当初の実施計画を達成できたため「◎」とした。
			誰	創業者、中小企業者等	◇ 相談実績	◎	
	経営支援課		何	ワンストップ窓口の1カ所でまとめて、支援策等の情報を得ることができる。	15,925 (千円)	現状維持	
133-2	経営支援事業	既存企業の経営相談や起業・創業を目指す方へのサポートを実施	効	既存企業の経営の安定、また、創業者がストレスの無く事業が開始ができる。	◆ 年間15件以上の創業実現	◎	年間30件の創業を実現したため「◎」とした。
			誰	創業者、中小企業者等	◇ 創業実績	◎	
	経営支援課		何	経営の安定化を図る。	5,609 (千円)	現状維持	
133-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
133-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

# 施策の内容評価シート(令和5年度分)

133-5			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
133-6			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
133-7			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
133-8			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A	A				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和5年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード 061543134
		施策	43	工業の振興	本冊ページ 98
	関連個別計画				
担当部局		商工観光部			
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		134	産業拠点である中勢北部サイエンスシティだけでなく活用可能な工場用地や未利用地等の情報を収集・提供するとともに、市内への企業立地に係る支援を行い、企業誘致を推進することに加えて、社会経済情勢や企業立地に係るニーズ等を踏まえ、新たな立地基盤のあり方について検討を進めます。		

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	実施評価 事業評価	
	担当課		何		決算額 (千円)	今後の方向性	
134-1	企業立地奨励金事業	企業の立地及び設備投資に対する支援	効	さらなる投資意欲を促進させる	◆ 企業立地奨励金22件 用地取得費助成奨励金6件	◎	予定の件数について、交付事務が適正に行われ、雇用が確保されたため「◎」とした。 奨励金に係る雇用確保数：494名
	経営支援課		誰	市内に事業所をもつ企業	◇ 企業の投資および雇用の確保	◎	
			何	雇用の創出を行う	197,134 (千円)	現状維持	
134-2	企業誘致事業	中勢北部サイエンスシティ及び民間未利用地への企業誘致の推進	効	雇用の増加及び事業規模の拡大を図ることができる	◆ 2社以上の企業誘致	△	実施評価については、2社以上の誘致目標に対し、1社であったため、「△」とした。 今後の方向性については、引き続き、本市への企業誘致に取り組むことから「現状維持」とした。
	企業誘致課		誰	市民	◇ 企業誘致数	△	
			何	職業の選択肢が増え、定住する市民が増える	827 (千円)	現状維持	
134-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
134-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
134-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

# 施策の内容評価シート(令和5年度分)

134-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
134-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
134-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
134-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
134-10	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	<b>B</b>

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	<b>①</b>

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A	B				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

